

第13回新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センターセミナー

日時：令和6年12月19日（木曜日） 17:00～

場所：医学部実習棟 4階 P4 講義室

演題：TNF-TNF シグナルの制御により腫瘍不均一性を克服するがん免疫療法
Cancer immunotherapy that overcomes tumor-heterogeneity by regulation of
TNF-TNFR signal

演者：池田 裕明 先生

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
腫瘍医学分野 教授



近年、腫瘍に対する免疫療法が実用化され、大きく期待される。しかし、固形がんは腫瘍不均一性が強く、抗原や抗原提示分子の発現を失った腫瘍細胞クローンの存在が免疫療法の有効性を阻み、その克服は大きな課題である。我々は遺伝子改変T細胞療法を中心に新規がん免疫療法の開発を行なっているが、その中でこれら免疫逃避クローンをも排除可能ながん免疫療法の開発に取り組んでいる。最近、抗原発現を失った腫瘍細胞クローンが存在していても免疫療法の効果がある腫瘍と、抗原発現を失った腫瘍細胞クローンの存在によって免疫療法の効果が著しく減弱する腫瘍の違いが、腫瘍細胞のTNFシグナル経路に依存することを発見した。TNFR下流は複数のシグナル経路が細胞に異なる結果を誘導することが知られ、我々はその制御により抵抗性腫瘍においても細胞死を誘導可能なことを見出した。本セミナーでは、これらの発見を中心に、腫瘍不均一性を克服するがん免疫療法開発の可能性について議論する。【池田 裕明】

連絡先：

浦野 健

島根大学 研究・学術情報本部 新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター
TEL 0853-20-2127

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(D3)、臨床腫瘍学総論(D2)

博士課程選択科目：細胞生物学I(D6)、老化 I (D19)、理工医学のための生物材料学、
理工医学のための生物材料学及び放射線(D109)

抗体やワクチンによる感染症の予防・診断・治療 (D003)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御 (M23)、理工医学のための生物材料学及び放射線の基礎 (M37)
を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。